

あなたの 笑った顔が 好きだから

あらためてカメラの前に立つと
どうしたらいいかとまどったりして。
どんなふうに笑ってたかな どんなふうに座ってたかな
ワタシって、どんなふうに映るのかしら。

きっと顔立ちとか、服装じゃない。
今まで重ねてきた日々が、
今そこにいるあなたをつくっているから
何も飾らなくていい
「どうしたらいいかしら」って
笑っているあなたも、素敵です。

そうしんクリニック 茶屋町
大森 美子さん
Yoshiko Ômori



「気分が落ち込むこともあるけど、家族からこんなに撮影に協力してもらえて、幸せを味わえて、本当に良かった」と、笑顔で話された大森さん。高校を卒業後は、一生懸命お仕事をされ、今はご家族様とゆっくり過ごされています。撮影中「お母さん、素敵よ」と声をかけつつ、自前のカメラでも撮影されるご家族様。私たちが温かく幸せな時間を過ごせました。

30年以上も、大切に手入れをしながら着続けているオーバーコートを見かけたスタッフに、「ぜひモデルに」と推薦された大森さん。この日も素敵なコーディネート。



こんな晴れやかな気持ちになるなんて、すごく幸せよね

溶鉱炉や船の部品やプロペラなど、モノづくりを仕事に長くお勤めされていた木戸さん。ご趣味の木彫り以外にも毎日1時間の散歩や地域の食事会へ参加されるなど活動的な一面も。そんな日々の習慣や心がけを明るくお話ししてくださいました。



毎日の散歩を続け、今後も元気に過ごしたい



撮影は「思ったより、リラックスしていた」との言葉通り、飾らない自然体の姿勢が印象的でした。

創心会 リハビリ倶楽部 笹沖
木戸 武尚さん
Takehisa Kido

メイク中も撮影中も明るく盛り上げてくださった鴨井さんは、以前は喫茶店を経営されていたそうです。撮影後、娘さんとの会話が増えたり、友達も増えたそうです。ストレス発散は「お話すること」だそうで、これからも明るく笑顔で、たくさんの方とのおしゃべりを楽しんでもらいたいです。



煌びやかな模様もさらりと着こなせるなんて素敵です。

創心会 リハビリ倶楽部 笹沖
鴨井 君子さん
Kimiko Kamoi

たくさんの方とお話して、これからも元気で頑張りたい

創心会 リハビリ倶楽部 新涯

中村 巖さん
Iwao Nakamura



長年、店に立つときに着続けてきた作務衣とバンダナは、中村さんにとってのフォーマルウエア。手には名物のお煎餅、演出プランも流石です。

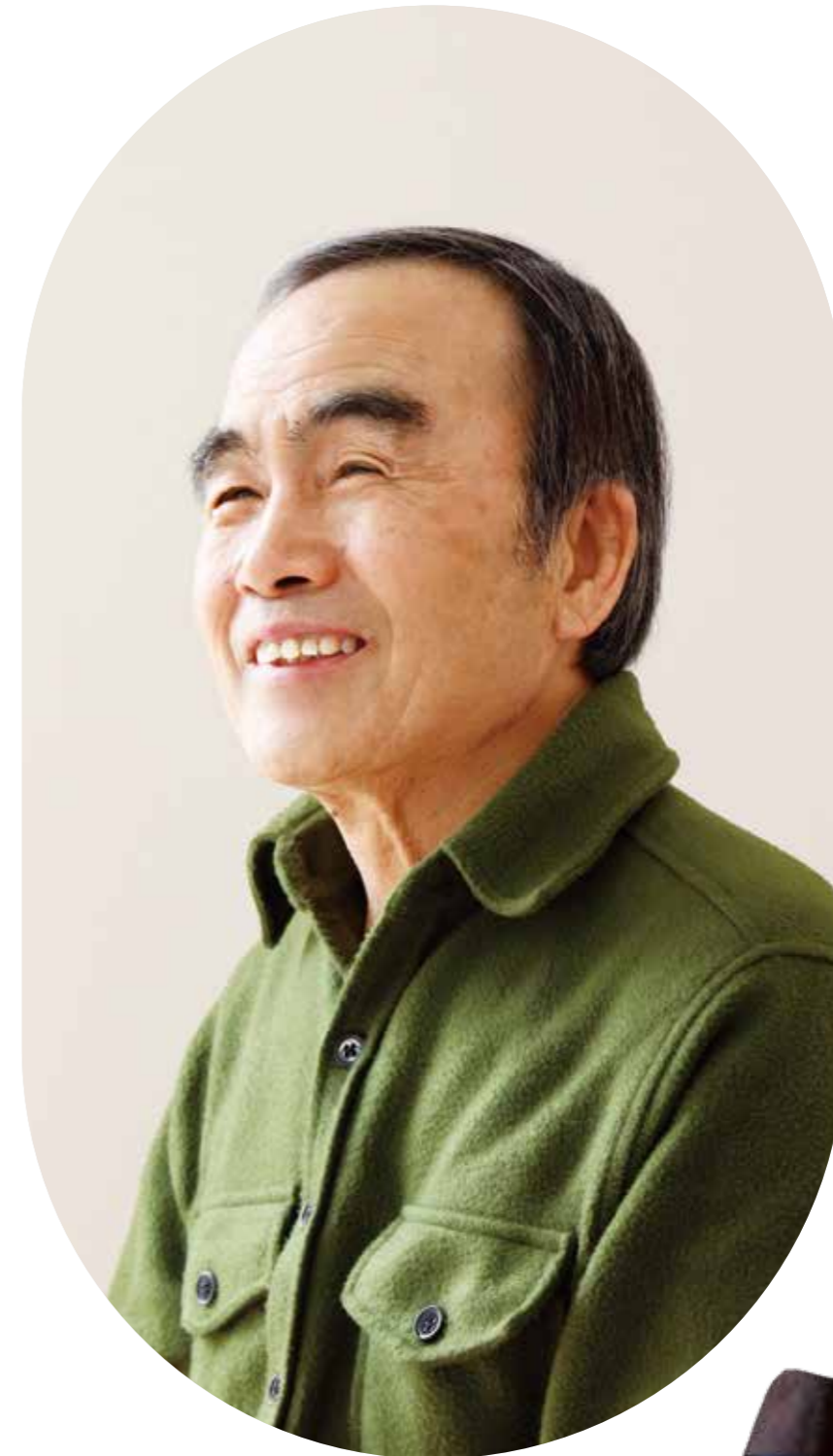
福山で煎餅店を創業以来、お客様を大切にし、長年その味を守ってきた中村さん。ご趣味は車やバイク。PRや注目を集める機会はこれまでたくさん経験されており、いつか自分に出番があるときには…と、心の準備をされていたそうです。表紙を飾ったプライドデザインを見られた方から声をかけられることが増え、自分に興味をもってもらえていると思うと、一層リハビリにも精が出たそうです。

趣味も商売も一生懸命だったから、今がある

森川 信一さん

Shinichi Morikawa

プライドデザインの表紙に掲載されて、本当に嬉しかった



ミリタリーを思わせる深緑のシャツは、奥様のコーディネートだそう。お気に入りのハットでもキメてくださいました！



災害や有事など、いざという時に召集される予備自衛隊として、国務大臣に表彰されたことがあるという森川さん。ポディビルダーの大会でも受賞されたりと、やると決めたら何事もストイックなんだそうですが、撮影時に見せる表情は、優しくてほがらか。そして、少しおちゃめ。表紙になった時は、いろいろな人から褒められて本当に嬉しかった、とおっしゃってくださいました。

ほがらかな笑顔が素敵な笠原さん。恥ずかしい気持ちもあったとのことですが、「なかなかこんな機会ないから」と前向きな気持ちでチャレンジしてくださいました。持ち前の明るさで周囲を楽しませたり、グラウンドゴルフや老人会へ参加されたりと、何事にも積極的なところなど、見習いたいエピソードがたくさんありました。



創心会 元気デザイン倶楽部(笹沖)

笠原 澄子さん

Sumiko Kasahara

カメラマンの指示にも爽やかに対応され、自然なポージング。常に笑顔を絶やされません。



これからも楽しく、元気でいたい

カラオケをしたり、習字が得意という阿部さん。センターの階段昇降をよく訓練としてされていますが、いつの間にか2階の別事業所のスタッフの名前まで覚えられていて、スタッフもびっくり。イベントのお手伝いやトラベルリハサークルも積極的に参加され、社交的で楽しい方です。常に前を向いて進もうと努力されている姿を知る人は、誰もが尊敬し憧れる存在です。



これからは料理にも挑戦していきたい



薄い黄色のカーディガンに映えるスカーフ。明るくさわやかなコーディネートに鮮やかな色の口紅が映えます。

創心会 リハビリ倶楽部 茶屋町
阿部 紀美子さん
Kimiko Abe

「モデルをやりたいと思っていたので、嬉しかった」とお気持ちを話された田丸さん。輝き続ける秘密は、様々なファッションに挑戦する好奇心なのかもしれません。流行を自分らしく取り入れながら、ファッションを堂々と着こなすことの楽しさと、自信を持つことの大切さを教えてくださいました。



ファッションと話すことが大好き



すべてご自身でスタイリングされたというガーリー系のコーディネートにトレンドカラーの髪色がよく映えています。アクセサリがポイントですね。

創心会 リハビリ倶楽部 新涯
田丸 晃子さん
Teruko Tamaru

宮本 清子さん

Kiyoko Miyamoto

「苦労した分、これからは楽しく過ごしたい」とそう穏やかに話された宮本さん。最近では、読書やテレビ鑑賞が楽しみだそうです。以前はお父様と一緒にテニスをしたり、ママさんバレーをずっと頑張ってこられるなど、昔から運動が好きで、今もリハビリを頑張っているらしいです。



表情を作るのは難しいわ、と宮本さん。恥ずかしがられていますが、とても自然でチャーミングな表情です。

これからやってみたい事を考えると、わくわくします。

吉川 勇さん

Isamu Yoshikawa

水島の製鉄会社に40年以上勤め、鉄を溶かす熱風の中でも仕事が楽しかったと語る吉川さん。ご自宅では趣味の将棋やおセロ、お酒が好きで、近頃は呑む量は減ったけれど、今でも芋焼酎を楽しんでいるそうです。自らの足で意のままに動けるように、これからも健康を第一に頑張るそうです。



「慣れてきたから緊張はしなかった」ご愛用のハンチング帽と眼鏡の奥の瞳から、その威厳が感じられました。

載るんじゃないな。家族に見てもらおう。

様々な角度のポーズにも快く応えてくださいました。格好よさと女性らしさをあわせもつ髪型に華やかでボリュームあるネックレスがとてもお似合いです。

息子を想うとカメラの前でも 自然と笑顔になれました



「私にできるか不安」と話す岡村さんに、大丈夫とスタッフが後押し。撮影の序盤は表情も心なしか緊張でこわばっていましたが、息子さんの話になると一気に和らぎ、愛情たっぷりな笑顔になりました。お友達にも好評だった今回の撮影。今後はもっとリハビリを頑張ろうと決意を新たにされています。

創心会 リハビリ倶楽部 高松中央
岡村 栄子さん
Eiko Okamura

85歳まで毎日2～3時間はゲートボールをして続けられたアクティブな八田さん。車に乗れなくなり、ゲートボールは行けなくなりましたが、91歳の現在は、セニアカーに乗って外出を楽しまれているそうです。撮影しているだけで、こちらが元気をいただきました。

これからも外出を楽しめる自分でいたい



カッコいい御髭に、チャームポイントは優しい笑顔。「よく撮れた」と大変ご満足されたそうです。

創心会 元気デザイン倶楽部(笹沖)
八田 實さん
Minoru Hatta

長年、石材輸送の仕事をした長尾さん。「イサムノグチ」や「流政行」など巨匠たちの数々の彫刻作品を美術館へ輸送した時の緊張感は、言葉では言い表せられないほど、と貴重な体験を語ってくださいました。今後はパソコンの上達を目標にされているそうです。



自分らしい表情が撮れた



以前はスノーボードやウェイクボード、サーフィンを楽しまれていたそうです。その涼やかな眼差しから、スポーツ万能さが伝わってくるようです。

創心会 リハビリ倶楽部 高松中央
長尾 仁志さん
Hitoshi Nagao

釣りやスキー・スケート、囲碁・麻雀等がお好きだという多趣味な神志那さん。撮影前に圧迫骨折をされるも、「表紙に載るなら、よい姿勢で撮りたい」という思いは折れず、撮影をやり遂げられました。突き抜けるような青空の下、ほがらかなスマイルで臨んでくださいました。



今後もリハビリや運動を続けたい



奥様が見立てた爽やかなジャケットとハンチング帽。感情が溢れるようにバシバシとポーズを決める大胆な一面も。

創心会 ポジリハシヨート 茶屋町
神志那 雅数さん
Masakazu Kôzina

社外報 別冊

Soushinkai Life



が

出来上がるまで

2021年に創刊した社外報別冊「Soushinkai Life」。
この度、第二弾が出来上がりました！

「Soushinkai Life」は 約1年かけて制作する写真集

今号も出演モデルは、創心會グループ内のデイサービスやショートステイのご利用者様たちで、14名が登場しています。撮影や発行には、出演モデルをはじめ、ご家族様やケアマネジャー、スタッフ等、たくさんの方々にご協力いただきました。

この写真集は、ご利用者様の表情や姿勢、その言葉からにじみ出る説得力を感じていただき、日々のリハビリや人生の成果を写真で振り返ることができます。出演されるモデルは、性別、年齢、介護度、身体の状態、生活環境など様々です。撮影が初めての方も多く、恥ずかしさや緊張のあまり、最初は思うような表情が作れない方もいらっしゃいます。しかし、いざ撮影がスタートすると、シャッターを切る度にリラックスされ、本来の表情に近づいていきます。撮影が進むにつれ、ご本人の「らしさ」が溢れてくることで、最良の表情をカメラにおさめることができるのです。

この写真集をご覧になる皆さまには、ぜひ「自分にはどんな可能性もある」と共感いただければ幸いです。

1 モデル候補を選出

撮影モデルは、ご本人様やご家族様に発行物の掲載にご了解をいただける方のみをお願いしております。撮影モデルを選出する際、スタッフ

フがお声がけするきっかけは様々ですが、ファッションやお洒落に関心がある方や積極的な方、撮影を楽しめそうな方がぴったり。また、事前に撮影モデルは決めて撮影させていただきますますが、撮影時にその場にいられず、撮影することもあります。



おしゃれ

積極的

撮影が楽しい

2 撮影準備・段取り

撮影モデルが選出されると、撮影をする日程やどんな風に撮影するか等、詳細を事業所の管理者や担当者 と相談します。撮影場所は、撮影モ

デルの方がご利用されている事業所や訪問先のご自宅で撮影しています。二ヶ月に一度発行される社外報の表紙撮影も兼ねますので、季節感を感じられる服装を事前にお願ひすることもあります。撮影モデルの方の身体状況、天候、撮影場所の環境などを考慮し、よりベストな撮影に臨めるよう準備を進めます。



日程

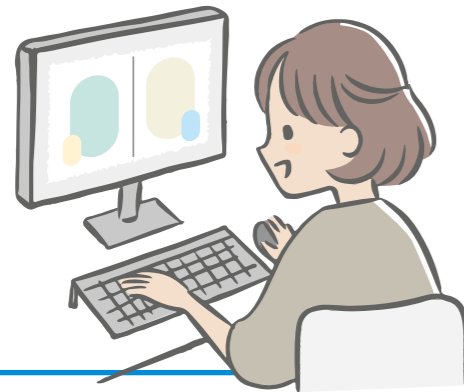
場所

天候

4 冊子の作成と印刷

撮影モデルの方には、撮影を引き受けられた時や撮影中、撮影後において、どのような心境の変化があったか、ヘアリングやアンケートを行います。冊子は、その内容と完成した写真データを使って作成し、慎重に編集や校正を重ねて完成させます。写真の掲載は、撮影前にも意志確認させていただきませんが、印刷前に再度確認し、意志が変わらなければ「掲載許可書」にサインいただき、印刷工程へと進みます。

レイアウトや印刷部数などを決定し、印刷を行います。印刷から納品まで約2週間。冊子の出来上がりを楽しみに待ちます。

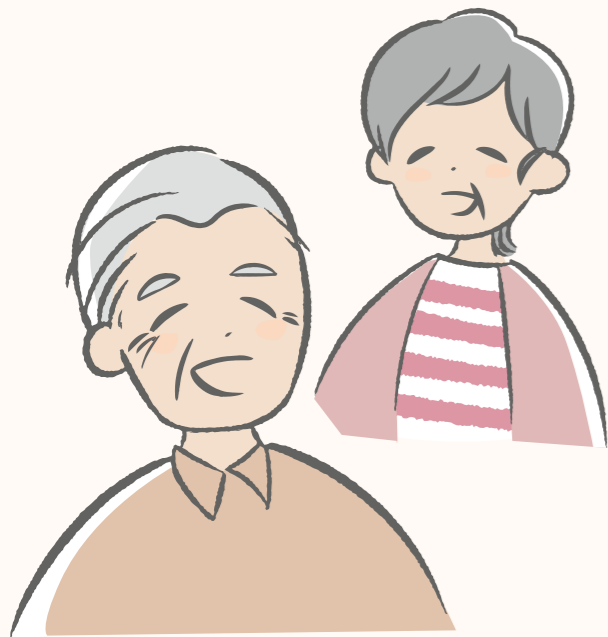


3 撮影・写真の選定

撮影は、太陽の高さも考えて、午前中に行うことが多いです。服装を整えたり、撮影場所の明るさを確認したら、いざ撮影開始！撮影モデルの方が一番魅力的に見える角度やポーズを探しながら、カメラマンがたくさんの写真を撮ります。撮影時間は約30分。撮影点数は200点を超えます。

撮影が終わりましたら、たくさんの写真の中から、3点程度を絞り込み、最終的に最良の1点を選定します。色味の調整や汚れの除去などを行い、写真データを完成させます。





／ 幸せな表情 ／

笑顔について

（ 幸せだから笑顔なのでしょうか、それとも
笑顔だから幸せがやってくるのでしょうか。 ）

Smile brings happiness ☺

☺ Smile makes me happy

幸せを運んでくる

笑顔が素敵な人を見ると「あの人は、きっと幸せだからあんなに素敵な笑顔なのだろう」と思いませんか。でも、人はそれぞれ何かしらの不安や病気などを抱えているものですよ。ある研究では、日頃から笑顔を心がけている方は、生活の満足度が高く、心理的に安定している傾向がある、とのこと。笑顔は心の薬。笑顔が素敵だと、幸せが寄ってくるかもしれませんね。

自分も人もハッピーに

一人の笑顔が伝播し、その場の空気を和ませ、笑顔になった人の気持ちを快適にする。これは脳の働きで、笑顔を見ると脳から快感物質のドーパミン系の神経活動が活性化されるから。だから、笑顔を見ると幸せな気持ちになるんですね。いつも笑顔でいることは難しい時もありますが、そんな時は、誰かの笑顔を見て、ハッピーな気分を味わうことができます。

心を向けて聞く

人間は、加齢、身体的自由、判断能力、仕事、人間関係などによって笑顔がしづらくなってしまうことがあります。
ご利用者様と対峙する時、私たちスタッフは、「聞く」という事を忘れないようにしています。ただ単に話を聞くのではなく、ご利用者様の気持ちに寄り添いながら、自分のことのように向き合います。ポイントは、「心で聞く」ということ。これが笑顔につながる第一歩だと考えています。
たとえ、話し手の悩みや不安が解決できなくても、話をさえぎらずに聞いてうなずいたり、あいずちをうったりすることが励ましとなったり、話し手が自分の感情に気づいたりすることもあります。皆さんもぜひ大切な人の話を心を向けて聞いてみてください。



／ 見守り・応援する ／

スタッフの声

（ 撮影に関して、スタッフたちもいろいろと
思っていることがあるようです ）

「写真はどんな風に
出来上がるかな…（わくわく）」
撮影モデルA様

出来上がりの写真が 本当に楽しみ！

日頃の様子をみてきている私たちは、もしかすると撮影モデルの方より緊張したり、楽しみだったりするかもしれませんが、ご利用者様という人なことを一緒に経験できることは、私たちスタッフにとっても、嬉しいことです。

一期一会を楽しんで

撮影に不慣れな方も多く、緊張して手が震えたり、顔がこわばったり。その緊張は、実はカメラマンも同じ。お互い初めましての間柄だからこそ、最初は緊張するのは当たり前ですね。カメラマンといろんな会話をしたり、ポーズをしたりする内に、だんだんリラックス。撮影に慣れたころに、ベストショットが撮れてるなっと思っています。

「撮影後、周りの反応に 恥ずかしさが！」

撮影モデルB様

撮影モデルに おすすめして 良かった！

撮影モデルの方の事業所内では「素敵な写真ね」「笑顔が素晴らしいわね」など写真についての感想を他のご利用者様が直接撮影モデルの方に伝えられるなど、普段あまり話をしたことがない方との会話のきっかけにもなっているようです。また、ご自宅でご家族様とも会話が増えた、と嬉しそうに話される方もいらっしゃいます。そんな話を撮影モデルの方とお話する度に、撮影モデルに推薦して良かった！と安心しています。

人のチャレンジ は刺激になる

人が何かにチャレンジしているとそれを見て人の視野が広がり、これまでと違った角度から物事を考えるきっかけとなります。撮影モデルのチャレンジは魅力的。「自分も何かできる」「自分も負けていけない」と刺激を受けた方が多くいらっしゃいます。

皆様、 素敵です

歳を重ねることに表情は深みを増す、と感じています。「仕事をやり抜いた」「子育てを頑張った」など、人生の経験を重ねながら、十分にやってきた方たちはやっぱり素敵。た方たちはやっぱり素敵。撮影モデルさんの多くは、身体や心に不安や痛みを抱える方ですが、それを全く感じさせません。

